

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	どんぐりひろば			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ~ 令和8年 1月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ~ 令和8年 1月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 6日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員体制が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置基準を満たした上で加配職員を配置し、個々の支援に丁寧に対応できる体制を確保している。</li> <li>子ども達の特性や状況に応じて、複数職員で見守りや支援が可能になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パート職員の確保を行い、急な欠勤が生じた場合でも、柔軟に体制が整えられるようにしていただきたい。</li> <li>外出プログラムをする際には職員体制が整っている時に計画していく、安全に配慮して実施していく。</li> </ul>
2	子ども達の成長の成果を発表できる機会がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して取り組んできたクラブ活動の成果を発表会という形で3月に家族に見てももらえる機会を実施している。</li> <li>子ども達が「目標を持って取り組む経験」を積むことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に参観日の機会を作り、日頃からの活動の取り組みや様子を見ていただく機会を作りたい。</li> <li>クラブ活動で同じ活動を続けてきているが、内容面でマンネリ化にならないように挑戦する気持ちを持って取り組んでいただきたい。</li> </ul>
3	職員一人ひとりが意見を出し合うことができている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で子ども達の様子や支援方法、対応について意見交換ができるている。</li> <li>話し合った内容をケース記録として子ども達一人ひとりの記録をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パート職員も含めて全職員が集まって話し合う機会が少ないので、休日開所日等で集まつた際には話し合いの機会を持てるようにしていただきたい。</li> <li>職員間で話し合った内容の支援方法を統一性を持って取り組めるようにしていく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物が小さく、活動スペースが狭い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の構造上、活動スペースが限られています。</li> <li>身体を動かす活動や集団活動の幅が制限されている。</li> <li>クールダウンのできる部屋がない。</li> </ul> <p>※法令の基準に満たしたスペースはあるがギリギリの広さになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内で活動をする際には机や備品の配置を工夫し、安全に配慮して活動を行うようにしています。</li> <li>クールダウンのできる部屋はないので、廊下をカーテンで仕切り、落ち着ける空間へと活用しています。</li> <li>身体を動かす活動は野外の公園や体育館などの地域資源を活用している。</li> </ul>
2	家族支援や家族等の交流できる活動への参加機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんぐりひろばで家族の参加できるプログラムの立案が少なく、実施することができていない。</li> </ul> <p>※他事業所と合同でのプログラムでは家族の参加できる機会は年に数回できているが、どんぐりひろば単独ではできていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年に1~2回でも家族が参加しやすいプログラムを企画していきます。（短時間開催や少人数等）</li> <li>保護者アンケートを通じてニーズを把握し、参加しやすい形の家族支援を検討していく。</li> </ul>
3	地域の子ども達との交流の機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の子ども達と直接的に関わりを持つことはハードルが高く、交流活動の具体的なイメージが持てていない。</li> <li>安全面やトラブル防止を考えると交流活動に慎重になってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近に使用している公園の清掃やイベント行事等、交流のハードルが低い活動から参加していき、段階的に地域との交流に挑戦していただきたい。</li> <li>学校や他事業所等との情報交換を行い、連携のきっかけを作っていただきたい。</li> </ul>

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	どんぐりひろば		公表日 年月日 令和8年2月6日					
		利用児童数	32名			回収数	23名	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	52.20%	34.80%	13%	0%	・日々の活動に充分足りるスペースが確保されていると思います。 ・外で活動するには良いが、室内で過ごすには10人いると少し狭そう。	・法令に遵守したスペースを満たすことができているが、部屋のレイアウトを考え広く見せる工夫をしていきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	95.70%	4.30%	0%	0%	・目が行き届く数だと思います。	・基準を守り、加算要件を満たす人員配置を行っています。 ・外出プログラムを実施する場合には引き続き職員を多めに安全に配慮できるようにする。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	82.60%	4.30%	0%	13%	・スッキリとしてわかりやすい環境になっている。	・トイレが1か所しかないこととクールダウンのできる部屋がないので増築も検討していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	0%	87%	8.70%	4.30%	・衛生的で過ごしやすい印象です。	・活動が始まる前には必ず清掃を行い、清潔な環境でみんなが気持ち良いと思えるような空間を保てるように心がけています。 ・夏場に駐車場の草が生えやすくなるので、定期的に抜いていくようにしていきます。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	91.30%	8.70%	0%	0%	・たいへん専門性の高い支援を受けられていると思っています。	・今後も積極的に外部研修に参加していく、知識の習得、スキルの向上を図るようにしていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95.7%	4.30%	0%	0%	・合っていると思います。	・子ども達や保護者のニーズをもとに、支援内容や活動を考え、運営できるようになります。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・客観的によく分析されて計画が作成されています。	・子ども達の日々の成長や日常における課題点を話し合うようにしていき、一人ひとりに合った個別支援計画を作成しています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・個人の状態に合った支援内容が具体的に設定されています。	・どんぐりひろばの個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」を踏まえて作成しています。その中から一人ひとりに合った発達状況を踏まえて必要な項目を選択し、支援内容に組み込んでいます。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95.70%	4.30%	0%	0%	・計画に沿っていると思います。	・支援計画の内容を職員が周知し、支援方法が統一できるようにしていきます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91.30%	4.30%	0%	0%	・多彩なプログラムが展開されています。 ・いつも楽しいプログラムをありがとうございます。	・プログラムがマンネリ化にならないように工夫しながらプログラムを立案できるようにしていきます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	26.10%	34.80%	8.70%	30.40%	・機会があるのかないのか分からない。	・地域の子ども達と活動する機会が作れていらないのが現状となります。今後の検討課題にもなってきますが、地域行事があれば参加していけるように検討していきます。	
支援体制	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	91.30%	8.70%	0%	0%	・丁寧に説明していただいている。	・今後も丁寧に説明ができるように心掛けていきます。 ・不明白点が無いように口頭説明だけではなく、文面化していくことでより分かりやすいようにしていきます。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	82.60%	13.00%	4.30%	0%		・個別支援計画の承諾をいただく際に支援内容の説明は行うようにしているが、説明時間が短くなっている。 ・保護者面談の機会を設けるようにし、より丁寧に説明ができるようにしていきます。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	60.90%	13.00%	8.70%	17.40%	・保護者にも情報が得られる機会があると思います。	・親子参加のプログラムが年に数回しか実施できないのが現状となります。 ・親子参加できるプログラムを考え、保護者同士が交流できる場を設定できるようにしていきます。	

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	91.30%	4.30%	4.30%	0%	・常に情報共有がしっかりとできていると思っています。	・日々の様子について丁寧に説明し、成長面や課題点、支援内容について共通理解が図れるように努めています。 ・不十分というご意見もあるので、今後もさらに保護者の方と共通理解が図れるように努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	65.20%	13.00%	8.70%	13.00%	・定期的ではありませんが困りごとに聞いてはよく相談に乗っていただいている。	・送迎時に話す機会は作るようにしているが時間は短いのが現状となっている。保護者がより相談しやすいように体制整備を心掛けていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95.70%	4.30%	0%	0%	・親身になってくださり共感的な支援を感じています。	・共感的な関わりの中で、子ども達や保護者が安心感をもって過ごしていくよう今後も努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30.40%	21.70%	8.70%	39.10%	・兄弟はわかりませんが保護者向けの会はよく設けられていると思います。 ・送迎の時に自主的に交流しているがひろばのイベントなどで交流できるかは分からぬ。	・毎年3月に1回 クラブ活動発表会で保護者との交流機会はあるが、父母の会や保護者会などの交流の場を設けることが不十分になっています。 ・兄弟プログラムや参観日、茶話会などのイベントごとを計画できるようにしています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	82.60%	8.70%	4.30%	4.30%	・相談にはしっかりと対応していただけています。	・相談や苦情（ご意見）については契約時、重要事項説明書を提示しながら説明をしています。 ・相談や苦情（ご意見）の内容をしっかりと受け止め、丁寧に対応することに努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	91.30%	8.70%	0%	0%	・常に充分な意思の疎通ができる感じています。	・一人ひとりに合ったコミュニケーションのやり方を情報共有し、活用できるようにしています。 ・保護者とは連絡帳をベースとしながらも相談したいがあれば随時、お問合せできるようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	91.30%	8.70%	0%	0%	・定期的にしっかりと発信されています。	・ホームページの通信欄を用いて日々の活動や連絡事項、自己評価アンケートの結果を記載している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91.30%	8.70%	0%	0%		・保護者が安心して利用できるように引き続き、個人情報の取扱いは気付けています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	73.90%	4.30%	0%	8.70%	・きちんと整理されていると思います。	・事故、緊急時対応、防犯、感染症等の説明に関しては契約をする際に説明を行っています。 ・マニュアル等は掲載できていないので、玄関口に掲載するかを検討する。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	60.90%	21.70%	0%	17.40%	・定期的に訓練されています。 ・定期的に防災センターに行かれて良い経験になっています。	・年に1回は防災センターに行くプログラムを行っている。 ・BCP資料をまとめ、職員間で周知できるようにする。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	91.30%	4.30%	0%	8.70%	・安全が確保された上で支援していただけています。	・災害時の対応については個別支援計画の中に記載しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	95.70%	4.30%	0%	0%	・怪我をした時に状況を教えていただけるので助かります。	・怪我には最善の注意を払いながらも起きてしまった場合には、送迎時に状況を踏まえて丁寧に伝えるように努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	95.70%	4.30%	0%	0%	・本人にとって大切な居場所だと感じていることがよく伝わります。 ・親子共々安心感があります。 ・子どもはどんなぐらひろばへ行くことをすごく楽しみにしています。	・子ども達一人ひとりに寄り添い、保護者との連携も大切にしていきながらどんぐりひろばに安心して預けてもらえるような事業所を目指しています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91.30%	4.30%	0%	4.30%	・毎月のプログラムを熱心にチェックし、これをやりたいと生き生きアピールしてくれます。	・子ども達がどんなぐらひろばに通うことが楽しみと思ってもらえるような居場所作りを目指しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	91.30%	8.70%	0%	0%	・多彩なプログラムに様々な角度からの支援でとても満足しています。	・今後もどんなぐらひろばの運営と支援に満足していただけるよう職員一同、資質向上に努めています。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	どんぐりひろば				公表日 令和8年2月6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14.30%	85.70%	<ul style="list-style-type: none"> <li>机を片付け、少しでも安全に活動できるスペースを広げるようにしています。</li> <li>法人内の事業所で広い部屋を借りて活動している時もあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令の基準に満たしたスペースはあるがギリギリの広さになっています。</li> <li>部屋のレイアウトを考え、広く見せれるように工夫していきます。</li> </ul>
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な職員配置になるようにパート職員の勤務をお願いしています。</li> <li>外出プログラム時には、安全を考慮してできる限り職員が多く勤務できる日で実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き適切な職員配置になるように勤務調整を徹底していきます。</li> <li>外出プログラム時には安全を考慮してできる限り職員が多く勤務できる日で実施していきます。</li> </ul>
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	57.10%	42.90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>本棚は本の大きさ1~3で区別が付くようにして片付けをする際に大きさが揃うように視覚支援しています。</li> <li>養生テープで境界線をわかりやすくしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレが1ヶ所しかないので、活動前にトイレをする際に行列ができてしまう。</li> <li>玄関から入ってすぐに療育室となっているので区切りがない。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	57.10%	42.90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用後の掃除に加え、活動の切り替え（食後等）の際にも床掃除をしています。</li> <li>定期的に換気をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由時間に一人ひとりの遊ぶスペースが狭くなっている。</li> </ul>
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0%	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールダウンできる部屋がないので、廊下をカーテンで区切り落ち着けるスペースとして活用しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部屋が1ヶ所しかなく、適切にクールダウンできる空間がない。</li> </ul>
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	85.70%	14.30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の成長や課題点について職員間で意見交換をしています。</li> <li>ケース会議記録として利用者一人ひとりの記録を作り、職員全体が周知できるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員一人ひとりが意見を出しやすい関係性を作り、しっかりと意見交換ができるようにしていきます。</li> </ul>
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	71.40%	28.60%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見があればしっかりと受け止め、改善案を職員間で話し合っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向け評価表のご意見欄が空白が多かったので次回以降できる範囲内で記入をお願いしていきたい。</li> </ul>
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々、職員間で意見を出し合って支援や活動に反映できるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続していきます。</li> </ul>
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者評価は平成26年度に1回目を受診しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度に第三者評価を受審しているが、それ以降で受審できていないので2回目の受審を検討していきたい。</li> </ul>
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修には、姫路市が主催している研修を各職員に割り当てて、計画性をもって参加できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姫路市以外でも研修の機会があれば、職員配置を調整し、積極的に参加できるようにしていきたい。</li> </ul>
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の支援内容やねらいをホームページにて記載しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援プログラムをホームページにて記載しているが、保護者に記載してあることが伝わっていないこともあったので、周知できるようにしていきたい。</li> </ul>
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画を作成する1ヶ月前にアセスメント期間として記録を作成しています。</li> <li>アセスメント用紙を配布し、日々の様子やニーズを把握できるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメント票の内容を具体的に記入しやすいように様式を見直していきたい。</li> </ul>
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>常に職員間で話し合い、検討している。検討後はケース記録として各利用者ごとにまとめ、記録を残すようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者一人ひとりの偏りがないように満遍なくケース会議の件数を行えるようにしていきたい。</li> </ul>
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した個別支援計画を全職員が周知できるように回覧しています。</li> <li>日々の出来事で共有しておきたいことは、職員用の連絡帳に記録しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続していきます。</li> </ul>
	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・個別支援計画は国が定めた様式を参考に「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援」「地域連携」を踏まえて作成するようにしています。	・継続して個別支援計画を作成していく、必要に応じて項目を増やし、内容面を充実できるようにしていきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・季節行事であったり、利用児の興味関心のある活動を考えていながら、プログラムを立案しています。	・子ども達にどのような活動をしたいのかアンケートを取り、プログラムの立案の参考にしていきたい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・平日は曜日ごとで活動内容を決めている為、活動は固定化になってしまいますが、その中でもマンネリ化にならないように日々新しいことに挑戦できるようにしています。	・新しいことに挑戦していくことを大切にしていながら活動内容を考えていけるようにしていきます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・集団としての行動面を大切にしていながら、個別に支援が必要な場合には寄り添えるようにしています。	・個別活動でも集団活動でも「できた」の成功体験を大切にできるようにしていきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・子ども達の様子や支援方法、連絡事項を話し合うようにしています。	・今後も継続していきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・活動終了後の記録を記入する時間に振り返りができるようにしています。	・帰りの送迎の担当職員が振り返りの時間がない為、全員集まって話し合いができる時間も設けるようにしていきたい。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・子ども達一人ひとりのケース会議を行い、記録しています。	・利用者一人ひとりの偏りがないように満遍なくケース会議の件数を行えるようにしていきたい。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年に1回モニタリングで振り返りを実施しています。日々の様子で気になる点があればケース会議を行うようにしています。	・今後も継続していきます。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	・集団生活をしていく中で4つの基本活動を組み合わせて、支援を行っています。	・今後も継続していきます。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・子ども達が自分で選択する機会を作り、自己決定できるようにしています。	・遊びであったり、おやつであったりとレベルトリーを増やしていき、自己決定できる範囲を広げられるようにしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が会議に出席しています。 ・会議に出席する前には対象児童の様子や課題点を話し合ったうえで参画している。	・職員間で情報共有をしっかりととしていき、担当者会議を充実させていきたい。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71.40%	28.60%	・保護者を通して医療の服薬の調整や様子を確認し、健康に関する記録を保管している。 ・教育機関とは必要に応じて担当者会議等を行っています。	・教育機関や地域の福祉機関との繋がりが限定期で、顔の見える関係が築けていない機関もあります。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を行っているか。	100%	0%	・送迎を行なう児童については、学校ごとに下校時刻の一覧を作成し、日々の変更にも柔軟に対応できるよう体制を整えている。 ・各学校の下校時刻表をいただいている。	・学校行事等で下校時刻の変更がある場合の情報の漏れがないように確認を徹底していきたい。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・法人内の児童発達支援事業所を利用している利用者については、連携の機会をもつことができます。	・今後も継続していきます。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	・移行先の事業所からのご依頼がある場合、必要に応じて情報を提供しています。	・ご依頼があれば提供するのではなく、しっかりと情報を提供し、密な連携を図れるようにしていきたい。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	57.10%	42.90%		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	28.60%	71%	・地域行事があればプログラムとして計画していき参加しています。	・地域行事には参加しているが、地域の子ども達と直接的な関わりは持てていません。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	57.10%	42.90%		・自立支援協議会には参加できていません。

保護者への説明等	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・日々の送迎時や連絡帳を通じて、当日の様子や出来たこと、気になった点を保護者に伝えるようにしています。	・忙しい送迎時や時間の関係により、ゆっくりと保護者と話す時間がとれず、伝達が一方通行になることがある。 ・短い時間でもいいので保護者面談を計画していく、共通理解を深められるようにしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	42.90%	57.10%	・年に数回ほど親子参加プログラムを実施しています。	・親子参加のプログラムは数回実施しているが、参加人数が少ないので情報をもっと発信していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・利用開始前の契約時の重要事項説明書を通して説明をしています。	・今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・日常的な相談の中で、利用者や保護者の意向や希望の聞き取りを行っている。 ・半年に1回、アセスメントを通して家族の意向を確認しています。	・保護者面談を計画していく、家族の意向や子ども達の様子をより深く共有できる機会を設けていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・事業所が作成した支援計画書を提示し、保護者同意を得て、支援を実施している。	・保護者様のニーズが反映されていることを確認しながら、計画の内容を丁寧に説明していきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・相談（直接、連絡帳、電話等）があればその都度対応を行っています。	・保護者の聞き取りから気になる内容があれば面談の機会を作り、親身になって受け止めていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	42.90%	57.10%	・年に1回発表会を通して保護者が集まる機会を作っている。	・親子参加のできるプログラムを実施していく、交流のできる機会を増やせるようにしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・苦情、ご意見等があればその都度迅速に対応しています。 ・苦情、ご意見等の報告は玄関にまとめて掲載しています。	・対応について、すみやかに職員に周知していきます。 ・苦情、ご意見の申し立てに関しては真摯に受け止め最良の改善を速やかに行っていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・1ヶ月ごとに通信を発行しています。 ・通信はホームページにて掲載し、必要に応じて配布しています。	・今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・記録等の持ち帰り、SNS等にあげることは行っていません。 ・個人情報の取り扱いには気を付けています。	・今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払うようにしていきます。
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・必要に応じて口頭説明だけではなく、書面や視覚情報を活用して、わかりやすく情報を提供しています。	・今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	57.10%	42.90%		・地域住民を招待する行事等は計画できていません。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	85.70%	14.30%	・各種マニュアルについては契約時に説明をしています。 ・災害時の避難場所については、個別支援計画に記載しています。	・不審者等の対策訓練ができていないので今後計画していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・業務継続計画（BCP）はファイルにまとめ保管しています。	・避難訓練が1年に数回しかできないので、計画性を持って実施できるようにしていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	・保護者より聞き取り及び確認を行い、全職員に情報を周知しています。	・アレルギーや発作が生じる児童へ職員が自信を持って対応できるように定期的に研修に参加していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・年度初めに健康調査票にて、食物アレルギー有無に関する項目を設け、適切に対応しています。 ・食物アレルギーのある利用児のおやつ、食事の提供をする際には保護者と密にやり取りを行うようにしています。 ・エビパンの取扱いについて講習を受けています。	・今後も食物アレルギーの取扱いに当たっては、細心の注意を払うようにしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	85.70%	14.30%	・安全計画のマニュアルを策定し、職員に周知している。	・避難訓練の他にも安全面についての研修や訓練が実施できるようにしていきたい。 ・マニュアルの見直しをしていきたい。

51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	85.70%	14.30%	・契約時に家庭へ周知できるようにしている。	・家族等に周知できているか定期的に確認していく必要がある。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハット、事故とされる事案が起きた場合には報告書を作成し、職員全体に周知しています。	・共有したヒヤリハット、事故等の再発がないように気付けていきたい。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・虐待防止委員会を設置し、事例等を検討し、全職員が共有できるようにしています。	・研修等あれば計画性をもって参加できるようになります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・身体拘束適正化委員会を設置し、事例等を検討し、全職員が共有できる用にしています。 ・利用開始前の契約時に身体拘束に関する説明を行い、同意書を得ています。	・研修等あれば計画性をもって参加できるようになります。